

報道関係者の皆様へ



雲南市

情報提供

令和7年6月10日(火)

担当課 (担当者)	政策企画部 地域振興課 (田中)
電話	0854-40-1013
FAX	0854-40-1029

Press Release

送付文書 2枚

開催日: 6/20(金)

にし
西小学校児童がコウノトリの愛称を市長へ提案し、愛称が決定します

本件のポイント:コウノトリのヒナの愛称を児童が市長に提案。市長が愛称を決定し発表します。

今年、雲南市では8羽のコウノトリのヒナが誕生しました。西小学校巣塔で3羽、大東交流センター巣塔で3羽、新たに加茂町^{かんばら}神原巣塔で2羽です。コウノトリは、足環^{あしわ}により個体の識別ができるため、雲南市では、市内で誕生したヒナに愛称をつけています。

西小学校巣塔で誕生した3羽のうち2羽は、西小学校の児童に愛称を提案してもらいます。当日は市長と教育長が西小学校を訪問し、6年生児童からコウノトリに関する取り組み状況や考案した愛称の説明を受けます。

その後、大東小学校児童が提案した2羽、加茂小学校児童が提案した1羽、一般募集した3羽の愛称を併せて市長が決定し、発表します。

- 日時:令和7年6月20日(金)9:40~10:10
- 場所:雲南市立西小学校(雲南市大東町仁和寺2435-11 電話0854-43-2801)
- 内容:①西小学校の取り組みや愛称について6年生(26名)から説明
②市長 石飛厚志・教育長 小田川徹哉 コメント
③愛称発表(大東交流センター巣塔大東小学校児童提案分、神原巣塔加茂小学校児童提案分、一般募集分も含む)
④西小学校6年生児童と記念撮影

※西小学校玄関で名簿の記入(又は名刺の提出)
のご協力をお願いします。



幸せを運ぶコウノトリと
共生するまちづくり
雲南市

◆雲南市のコウノトリについて

●平成29年から9年連続営巣

- ・平成29年、30年は、大東町^{はるえ}春殖地区内の電柱上で営巣。(2年間)
- ・平成31年(令和元年)以降は、西小学校にある人工巣塔で営巣。(7年連続)
- ・令和4年まで6年連続4羽が巣立ち、令和5年から今年の3年間は3羽が巣立った。

- ・令和6年に大東交流センターに設置した人工巣塔では昨年に引き続き今年も営巣し、昨年度同様、3羽のヒナが誕生。(2年連続)

●新たなペアの営巣

- ・平成30年に加茂町神原に設置した人工巣塔で初めて営巣。
- ・2020年兵庫県生まれのオス(「青」J0293)と、2021年雲南市生まれのメス(「はなび」J0360)のペアが営巣し、2羽のヒナが誕生。

●雲南市で育ったコウノトリ

- ・平成29年から令和6年までに巣立った総数は33羽。
- ・今年(令和7年)の8羽を合わせると41羽になる。

内訳:西小学校巣塔33羽、大東交流センター巣塔6羽、神原巣塔2羽

◆愛称の提案・募集について

平成30年6月、西小学校児童が市長に対し、コウノトリ学習の成果を発表するとともにヒナの愛称をつけたいと要望。今後、営巣地の小学校で半分、もう半分は市民公募とすることに決定。

【営巣地の小学校】

- ・西小学校巣塔・・・西小学校
- ・大東交流センター巣塔・・・大東小学校
- ・神原巣塔・・・加茂小学校

◆一般募集について

5月12日から6月6日まで、市民から一人2点まで募集。

地域の関係者の意見を参考に市長が決定。

応募者数29名、応募総数49点。



幸せを運ぶコウノトリと
共生するまちづくり
雲南市